

## 平成23年度第2回市民評価委員会議事録

- 1 開催日時 平成23年11月18日（金）15：00～15：50
- 2 開催場所 応接会議室
- 3 出席者 委員12名（加藤友久委員長、眞鍋昌裕副委員長、秋月伸一委員、加藤照雄委員、工藤砂絵子委員、石井俊一委員、吉川貴志委員、森岡貞弘委員、加藤学委員、合田功委員、神岡敦子委員、田中尚子委員）  
事務局4名（総合政策課 原、小野、加地、曾我部）
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容
  - 1 開会
  - 2 各専門部会結果報告
  - 3 質疑
  - 4 市民評価委員会の評価の決定
  - 5 その他（行政評価全般に関するご意見等）
  - 6 閉会

### 6 議事録

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 本日は、市民評価委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、それぞれの専門部会におきましては、熱心にご審議いただきましてまことにありがとうございます。本日は、市民評価委員会として全体のまとめをお願いできればと思っております。本日18名の委員さんのうち6名の方が欠席とご連絡を頂いております。それでは、加藤委員長よろしく願いいたします。  |
| 委員長 | それでは、議事を進行させていただきます。<br>第1回の市民評価委員会を8月19日に開催いたしまして、その後3つの専門部会に分かれて審議していただいたわけですが、各専門部会とも、積極的に建設的なご意見が多く、大変実りの多い部会であったと事務局から伺っております。真摯な取り組み対しまして厚くお礼を申し上げる次第でございます。<br>本日は、3つの部会であります快適交流・経済活力部会、環境調和・健康福祉部会、教育文化・自立協働・計画の推進部会の評価結果を事務局より報 |

|            |   |
|------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>告をいただき、その内容について審議し、最終的に市民評価として決定したいと思います。</p> <p>それでは、事務局から3つの部会、評価結果の説明をお願いします。</p> <p>それでは、各専門部会の評価結果について、報告いたします。</p> <p>3つの専門部会それぞれ3回開催していただき、15事業について熱心に議論をしていただきました。</p> <p>その結果につきまして、「平成23年度行政評価対象事業一覧表」のとおりでございます。「重点化する」が5事業、「手段を改善する」が4事業、「廃止する」が1事業、「現状のまま継続する」が27事業、「補助事業」が8事業となっております。</p> <p>専門部会での評価結果とその自己評価結果と市民評価結果が異なる事業につきましては、「市道管理事業」など7事業ございました。</p> <p>これまでは、市民評価につきましては、ご議論いただいた内容のうち、事務事業評価表の評価結果欄の市民評価のところに、検討の方向と具体的な方法の欄にまとめさせて頂いておりましたが、今年度からそれ以外に専門部会で頂きましたご意見とおもな質疑内容についてとりまとめておりますので、この資料に沿って報告させていただきます。</p> <p>まず、快適交流・経済活力部会でございます。</p> <p>評価結果については、「平成23年度行政評価対象事業一覧表」にありますとおり、「現状のまま継続する」が11事業、「補助事業」が4事業でございます。</p> <p>まず、「市道管理事業」は、他の事業と統合し事業費が増加したことと、管理する道路延長が増えることから自己評価を「重点化する」としておりましたが、市民評価は、市道の全路線をベースとして、その中で、優先順位や費用対効果も含めて、どのような考えで取組むのか手段を整理したうえで実施して欲しいということで、「現状のまま継続する」でございました。</p> <p>次に、「ふるさと雇用地域ブランド商品開発・販路開拓事業」、「ふるさと雇用商店街活性化協働ネットワーク事業」、「ふるさと雇用新居浜市地産地消推進事業」につきましては、自己評価、市民評価ともに「現状のまま継続する」となっておりますが、この3事業につきましては、県の市町ふるさと雇用再生事業を活用しており、自己評価は、平成23年度までの継続としておりますが、市民評価では、事業目的が達成するまでは、事業の目的に沿った事業を平成24年度以降も引き続き実施して欲しいという事で、「現状のまま継続する」となっております。</p> <p>次に、「遊休農地解消事業」と「水田営農活性化事業補助金」についてで</p> |
|------------|---|

ございます。

「遊休農地解消事業」は、いままでのやり方では、成果が期待できないことから、「廃止する」、「水田営農活性化事業補助金」は、「現状のまま継続する」となっておりますが、一定の成果が出たということから、平成24年からは廃止するという自己評価でございましたが、市民評価は、耕作放棄地解消に向けた取り組みは、大きな行政課題の一つなので、2つの事業を統合し、事業化、事業の再構築に向けて取り組んで欲しい。取り組むにあたっては、認定農業者など担い手のいる周辺の耕作放棄地を対象としたモデル的实施についても検討して欲しいという評価となっております。

次に、環境調和・健康福祉部会でございます。

評価結果については、「平成23年度行政評価対象事業一覧表」にありますとおり、「重点化する」が1事業、「手段を改善する」が2事業、「現状のまま継続する」が9事業、「補助事業」が3事業でございます。

まず、「省エネルギー対策事業」は、平成23年度は、省エネ講習会・省エネコンサルティング・省エネ対応法支援を委託し、引き続きエネルギー使用量削減に向け取り組むことから自己評価を「現状のまま継続する」としておりましたが、市民評価は、エネルギー消費原単位の低減目標が達成できるよう、各施設の特色に合わせた具体策を盛り込んだプランづくりを行うとともに、それぞれの施設が現場で実施していくために必要な経費についても考慮していただきたいということから、「手段を改善する」となっております。

次に、「資源ごみ集団回収奨励事業」は、資源ごみのリサイクル、ごみの減量という目的のため、当該事業は有効で、市内の各種団体が一定継続して事業に参加しており効果を上げていることから、自己評価を「現状のまま継続する」としておりましたが、市民評価は、更なる資源回収量を増加させるために、団体数を増加させる努力、回収単価を引き上げる努力等ポイントを決めて実施していただきたい。まずは、事業のPRを重点的に実施していただきたいということから、「手段を改善する」となっております。

次に、「太陽光発電補助事業」では、市民評価の具体的な方法として、国の政策としては今後も増えていくと思われる。太陽光発電設備を設置し、後悔しないよう設置後のトラブルについて、もっとPRを行ってほしい。と最終的に専門部会としてとりまとめましたが、長期総合計画に示す戸数を満たせば休止しないと無尽蔵になるのではないかと。補助金はきっかけにはなるが市の補助金はなくても国の補助があるので、市の税金は入れなくてもよいのではないかと。ただ、もらえる人ともらえない人の不公平感も懸念される。という意見もございました。

次に、「浄化槽設置整備事業」では、環境面やコスト面から市民要望も高

く、補助機数の増加を検討することから、自己評価を「重点化する」としており、市民評価につきましても、合併処理浄化槽についての良い点を積極的に PR することで、市民の認識を得て普及に繋げていただきたい。また、補助申請があったものについては年度内に処理できるような取組について検討していただきたいという評価を頂いております。

次に、「妊婦一般健康診査事業補助金」、「訪問指導事業」では、事務事業の対象者についてご意見を頂きました。対象者につきましては、妊婦一般健康審査事業補助金では、一般健康診査の延べ回数となっているが、本来人数ではないか、訪問指導事業では、国から示された方式での対象者となっているが、実際に訪問した人数とすべきではないかという事でございました。来年に向け、事業としての対象者数とコストを投入することにより影響のあった対象者数を分けて表示できないか検討して参ります。

次に、教育文化・自立協働・計画の推進部会でございます。

評価結果については、「平成23年度行政評価対象事業一覧表」にありますとおり、「重点化する」が4事業、「手段を改善する」が2事業、「廃止する」が1事業、「現状のまま継続する」が7事業、「補助事業」が1事業でございます。

まず、「学校図書館支援推進事業」、「学校図書館活性化推進総合事業」についてございます。

「学校図書館支援推進事業」については、学校図書館の役割は「読書センター」「学習センター」「教材センター」の役割があるが、この3年間の学校図書館支援推進事業を通して、「鍵のかかった本の倉庫」の印象の学校図書館が多かったが、本来の学校図書館機能が働き始め、児童生徒らにも学校図書館の有用性がわかり始めてきた段階ということで、自己評価を「現状のまま継続する」としていましたが、市民評価では、子どもたちは環境によって差が出るので、いい所をどんどん伸ばすことも大事だが、環境の悪い所を良くするように市ももう少し力を注いでほしい。指定校でない学校もどうするのかを考えてながら進めて頂きたい。

「学校図書館活性化推進総合事業」の廃止を踏まえより一層強化して頂きたい。ということから、「重点化する」となっております。

次に、「備蓄物資購入事業」は、備蓄物資は定期的に補充するという事で、自己評価を「現状のまま継続する」としておりましたが、市民評価は、東日本大震災があったのは、子どもが学校、親が仕事で家族がばらばらの時間帯であったことから、災害対応については、学校や公民館などを巻き込んだ対応が必要であると思う。備蓄物資についても、あらゆる事を想定して積極的に考えて頂きたいということから、「重点化する」となっております。

|            |  |
|------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>次に、「メディカルコントロール体制整備事業」は、救急救命士及び救急隊員による救急活動の質を保持し救命率の向上を図るため、メディカルコントロール協議会が開催する研修及び教育に積極的に参加することが望まれることから、自己評価を「現状のまま継続する」としていましたが、市民評価では、救急救命士においては気管挿管・薬剤投与等の高度な救命処置と処置を実施するにあたり的確な判断が求められるため地域メディカルコントロール協議会が開催する研修及び教育に積極的に参加することが望まれる。また、救急救命士についても消防活動を兼務し資格手当もないことから、救急救命士有資格者の増員及び救急救命士の資格手当について、計画し推進して頂きたいというご意見を付して「重点化する」となっております。</p> <p>最後に、「各種特別研修推進事業」では、階層別研修では、新採研修で特に市民への気配りやコミュニケーション能力に関する研修に力を入れて頂きたいというご意見を頂いております。</p> <p>それぞれの事業を審議いただく中で、次年度への取り組みを進めていく際の貴重なご意見やアドバイスをいただくことができ、大変ありがたく思っております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、報告を終わります。</p> <p>以上、事務局から各専門部会の評価結果の報告でございました。それぞれ専門部会ごとに市民評価の決定をしたいと思います。</p> <p>まず、快適交流・経済活力部会の 15 事業についてでございます。</p> <p>何かご質問、ご意見があれば、ご発言お願いできたらと思います。</p> <p>事前に評価結果の資料は頂いていますが、自分の参加していない専門部会の中身はなかなか分かりにくい所があるとは思いますが、何でも結構ですのでご発言お願いできたらと思います。</p> <p>それでは、快適交流・経済活力部会で自己評価の現状のまま継続するという中身と部会での現状のまま継続するという中身が、若干趣旨が違う部分がございます。どういうことかと申しますと市民評価では、平成 22 年度の実施事業について、市民評価いたしました。原課は、23 年度も実施するという意味で現状のまま継続するという意味で、もともとこれは、補助金がからんでいるために、平成 23 年度で予算が切れるから事業をやめるということです。我々が見たのは、平成 22 年度の事業ですから平成 23 年に向かって現状のまま継続となっているけれども予算がなくなる平成 24 年度以降はやめる趣旨の説明があったために、少なくとも選んだ事業についての行政目的が達成されていないものについては、市単独予算でも引き続き平成 24</p> |
|------------|--|

|      |   |
|------|---|
|      | <p>年度以降も取り組んでほしいという趣旨の現状のまま継続するという事です。そこから辺り経営戦略会議に説明する時には、趣旨を充分説明して頂くようお願いをいたしたいと思います。</p> <p>他にご意見等ございませんか。</p>   |
| 田中委員 | <p>各部会に分かれて評価し、現状のまま継続するとか重点化するという意見が出たのですが、これは、次の予算を組む時にどの程度の影響力があるのですか。</p>   |
| 事務局  | <p>まず、市民評価をいただきまして、本日、市民評価として、最終決定して頂きます。その後、この決定を受けまして、市長が入った経営戦略会議にかけまして、そこで最終評価する際に、市民評価で頂いた意見等を渡して、どうするかという評価を出していきます。その結果を受けて、年明けにかけて予算を編成していきます。その時に、市民評価、経営戦略会議でこういう評価、方向性を頂いているという事で、予算編成をしていくという流れとなります。</p> <p>補足させていただきます。まず自分たちで自己評価をする。それを踏まえて皆様に市民の視点で見て頂く、その両方を含めて経営戦略会議でもう一度評価をする。当然ながら同じものと評価が異なってくるものがある。基本的な考え方というのは、市民の皆様が見られた評価を最大限尊重するという形で、予算に反映していきたいと考えております。ただ、少しずれている場合は、こういう理由でという事を、また説明させて頂くという流れとなります。</p> |
| 委員長  | <p>それでは、快適交流・経済活力部会の 15 事業については、ただいまの評価結果を市民評価委員会の結果とし、経営戦略会議に報告いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p> <p>田中委員さん、今、説明があったように、最終的には、経営戦略会議が意思決定をいたしますが、我々市民評価委員会の出す結論については、3月に議会で予算が議決されますが、我々市民評価委員会が考えている方向で、予算が成立しているかどうかについては、議決された後に改めて会を開いて、我々の出した答えがどのように反映されているのか説明して頂きます。</p> <p>市長、副市長、各部長で構成する経営戦略会議で我々の意見と違った答えが出ている様な場合については、なぜ違ったのか、その背景にはどういった事があるのかを含めて、報告してもらうようにします。特に我々の出した結論がオールマイティじゃない部分もありますので、そこは、きちっと説明をも</p>                 |

|      |  |
|------|--|
| 田中尚子 | <p>らって、我々もこれからの評価の参考にしていくという流れになってきますので、もう少し時間を頂いたらと思います。よろしいでしょうか。</p>  |
| 委員長  | <p>はい。</p> <p>それ以外にございませんか。</p> <p>それでは、快適交流・経済活力部会の15事業につきましては、ただ今説明がありました評価結果を市民評価委員会の結果として、経営戦略会議に報告したいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;はい&gt;</p>   |
| 委員長  | <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、環境調和・健康福祉部会の15事業についてでございますが、特にこの件について、質疑等ございましたらご発言お願いしたいと思えます。</p> <p>眞鍋部会長さん何かございますか。</p>   |
| 副委員長 | <p>全体的なことは、今、事務局から説明いただいたとおりなのですが、多くは、現状のまま継続するが多いのですが、その中にも、説明者に対して、「強いて改善するとすればどういうところがありますか。」という事を伺いながら評価しました。</p> <p>環境と福祉なのですが、福祉の場合は、なかなか評価しにくいですね。言われれば、ああそうですかという風になってしまうので、その辺を今後どうするかというのが、評価の立場からすると、何か考えなければいけないなという感じがしました。</p> <p>環境のほうなのですが、環境問題というのは、省エネ法が変わって、毎年1パーセントずつエネルギーを削減していくという目標が具体的に出ています。それを各部所でどうするのかというのが、具体的な動きになるのですが、部所によっては、そういう事に慣れていない所もありますので、計画を立ててやって行くのですが、計画倒れにならないように、数値目標を達成できるようなところをポイントにするというような事で、コメントを付けました。</p> <p>例えば、省エネルギー対策事業、温暖化対策地域計画策定事業、地球高温化対策地域協議会活動事業がそれに関係するのですが、地球高温化対策地域協議会は、出来上がったところなのですが、これから活動していきます。どうしても庁内だけの問題ではなく、市民一人一人がそういう環境問題の意識を</p> |

|              |   |
|--------------|---|
|              | <p>持っていただかないと達成できないので、如何に市民の方に認識していただくかという事を、いかにPRしていくのかという事が問題なので、そういうことを重点的にして頂きたいということをコメントしました。</p> <p>流れとしては、そういうことです。</p>   |
| <p>委員長</p>   | <p>環境調和・健康福祉部会についてですが、特にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>ないようですので、環境調和・健康福祉部会 15 事業については、ただいまの評価結果を市民評価委員会の結論とし、経営戦略会議に報告いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>  |
|              | <p>&lt;はい&gt;</p>   |
| <p>委員長</p>   | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、教育文化・自立協働・計画の推進部会の 15 事業について、何かご質問ご意見等ございませんか。</p>   |
| <p>加藤部会長</p> | <p>加藤部会長さん特にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>会の中で出た意見ですが、学校図書館支援推進事業ですが、この質疑のなかで、図書館の司書の方は、一生懸命取り組んで頂いているのですが、人数的な制限もあって全ての学校にできるわけではない。これは、学校図書館活性化推進総合事業ということで、国の制度と絡まっていた形ではいるんですが、新居浜市内の中学校を指定校的にいくつかピックアップして、それをモデルにして、先進県を見学されて、1つの指導書の形に作られて、指定されていない学校にお配りして、レベルを上げるという努力をされているようなのですが、指定されてやっている所とされていない所の差がどうしても出てしまう。できれば積極的に新居浜市内の子どもたちが、同じ環境になるような努力を市の方としても予算付けをして、積極的にやって欲しいということで、現状のまま継続するということを中心化して欲しいという話になりました。</p> <p>あと、メディカルコントロール体制整備事業で、消防本部の救急救命士のことだったのですが、お話を聞くと、消防署ですから、消火事業など緊急の時にしか出かける事が多いのですが、その他に救急救命ということで、救急車の方の活動をされているという事をお聞きしました。都会、先進県では、人数も多いということで、救急隊と消防隊が分かれてやるという体制も取れているのですが、新居浜市の場合は、これだけの規模だという事で、消防士もや</p> |



|       |  |
|-------|--|
|       | <p>る、救急救命士もするというので、そのところをお聞きしました。</p> <p>仕事をするために資格を取るけれども、資格手当がないという事をお聞きしたものですから、市民目線からいって、一般企業などは、ちゃんと資格手当ということで、そういうご苦勞をされる方には、手当が出ているはずだから考えて欲しいというような事を申し上げました。</p> <p>市のなかですからいろんな規程があるのですが、弾力的にご対応できれば、やっている方もなお一生懸命やろうという意欲が湧くのではないかと思いますので、この様なお願いをいたしました。</p> |
| 委員長   | <p>ありがとうございました。それ以外にご質問ご意見等ございませんでしょうか。</p>  |
| 吉川委員  | <p>自立協働の 38 番、備蓄物資購入事業についてですが、これは市民評価を見ると、幅広い対象があるので、備蓄物資の種類を増やしてもらうための重点化という事ですかね。あと、量や保管場所については。</p>   |
| 加藤部会長 | <p>お答えいたしますと、現在保管されているところは、何箇所か限られている。総括の 2 行目に書いていますが、学校や公民館などを巻き込んだ対応が必要であるというところに表わしているのですが、備蓄物などをそういうところに入れて、旧図書館の 1 箇所だけということなので、もう少し分散管理をして具体的に動けるようにという意見でした。</p>   |
| 委員長   | <p>よろしいですか。</p>  |
| 吉川委員  | <p>はい。</p>   |
| 委員長   | <p>それ以外にございませんか。市民評価委員会に関する事、何でも結構ですから。</p>  |
| 田中委員  | <p>学校図書館の事なのですが、昨年、市内で 3 校を対象にしたらしいのですが、新居浜市内 27 校、小中でありまして、1 年間で 3 校ということは、毎年やっても 9 年かかります。9 年ということは、義務教育が終わります。ということは、1 回もそういう環境に触れないままに、卒業する子どもがかなりたくさん出るわけです。やはり、少しでも同じような環境で、子どもたちを育てたいと P T A としても思いますので、特に重点的に子どもの環境整備に力を入れて欲しいと思います。将来のための投資ということでお願いしたいで</p>    |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>す。</p> <p>学校図書館支援推進事業は、すごく好評でございまして、子どもさんたちが図書に親しめるよう、図書館のかたも、一生懸命取り組んで頂いてます。</p> <p>スタートは、モデル校的にしたところもございまして、まずは、学校の図書室の整備を始めましょうということで、見やすく棚を作るであるとか、ふれ合いやすく場所づくりをするというような事で、取り組んで頂き、それについては、ある一定、全体としては、整備ができてきました。あとは、子どもがどうやって調べたらいいという辺りの図書に対する興味を持って頂く事を今年、指定校をモデルケースとして、マニュアルのようなものを作って、それを全校に広めて行こうというような事で、現在取り組んでできているところでございます。</p>   |
| 委員長 | <p>小中27校で、具体的に何年間でやろうとしているのですか。</p>  |
| 事務局 | <p>学校の希望で手を挙げられる所となっております、市内の小中全校という事にはなっていないのが現状でございます。というのは、小学校によっては、すでに地域の方が入って一緒にやっている所もあるという事で、市の中でも議論があるのですが、学校として司書教諭がいて、どこまでするかという問題と、今、図書館の方から行って、応援的にしている部分があって、そのバランスと言いますが、本来であれば学校の司書教諭の先生が仕事としてするというところがあるのですが、どうしても授業を持っていたりという中で、どこまでできるのかというところがあって、現在は、図書館の方から応援して来ていただいているというのがあります。</p> <p>委員長さんの言われました、全体をいつまでにというのは、まず、学校の整備としては、希望された学校については、出来上がっています。ただ、今からさらに先生たちも含めて、図書にどのように親しめるか、調べられるか、子どもたちが調べるかということ全体として広げて行きたいという希望でございます。</p> |
| 委員長 | <p>田中委員さんの意見は、教育機会の不平等をなくすという意味で、手を挙げた所、挙げない所ではなく、先生がいる、いないではなく、要は、子どもさんを中心に見た時に教育機会の不公平が生じない対応の仕方を考えて欲しいという趣旨で発言されたので、その辺は、目的を達成するために、手段はいろいろあると思います。ですから、田中委員さんが言われた趣旨だけは、教育の機会均等というのは、非常に大事なことでありますので、是非、その趣旨を</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 田中委員 | <p>酌んだ事業展開をして頂きたいと思います。<br/>田中委員さんそれでよろしいですか。</p> <p>補足なのですが、図書司書教諭という言葉が出たと思うのですが、昔は、図書司書いわゆる図書の先生という専属の先生がいました。現状で、市内27校のうち3校位は、図書司書を置いている学校があります。ただし、それについては、市からの雇用ではなく、PTA会費からの雇用で、図書司書を雇っているのが現状です。大半の学校は、図書司書教諭を置いて、学級担任をしながらの先生が図書の事もしている。手を挙げた学校に関しては、図書館の方からいろいろやってますという事なのですが、図書教諭の先生が手を挙げてしまうと自分が余計な仕事を抱えてしまうというのが現状です。<br/>学校の図書館よりは、自分のクラスの事をきちっとやりたいというのが学校の先生ですから、その辺りの現状も聞いてもらった上で、もっと子どもたちに恵まれた環境を与えてあげて欲しいと思います。</p> |
| 事務局  | <p>その点については、企画財政会議で教育委員会と企画部門と予算を伴うものについて話をする場があるのですが、その中で、企画部門から市内を同じ様にする取り組みをされてはどうかというお話をさせて頂いています。<br/>それともう1つは、田中委員さんが言われたように、先生が足りないという市の方で何とかできない問題については、要望するなどの活動も行って頂きたいというお話もさせて頂いています。<br/>今、田中委員さんが言われたような趣旨は、経営戦略会議の中でもお話させて頂きたいと思っています。</p>  |
| 委員長  | <p>市立図書館の職員もいますよね。小中27校バランスよく、最低でも不均衡が生じないような、対応の仕方も含めて検討してもらうように、田中委員さんお願いしておけばどうでしょう。</p>  |
| 田中委員 | <p>はい。よろしく申し上げます。</p>  |
| 吉川委員 | <p>関連して1つ、以前は、補助金という形で、各学校とかPTAに降りてきて、PTAがPTA会費で教員でない司書補の方を雇うという形でしていたが、その補助金がなくなりました。だからこういう事業を特定の学校ではなくて、やろうというPTAがあれば、全ての学校に補助金という支援をするという形もあると思う。全部一律付けようとするとかかなりな額が出ますから、そこでハードルが高いのですが。そうでないやり方もあると思いますので、</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 事務局   | <p>それも検討して頂けたらと思います。</p> <p>吉川委員さん言われたように、そういう話もさせて頂いたのですが、学校と地域と子どもたちという中で、地域の方々が子どもさんをどう守るという取り組みの中で、そういう事も構築できないかなと、実際構築されている所もあります。そういうところも必要であると思います。</p>  |
| 加藤部会長 | <p>視点が2つあって、地域が積極的にやられるところと、学校長さんなりトップの人が積極的にやろうという意欲の強い学校は、どんどん進む、そうでない所が、取り残される、というようなところがあるので、市の予算ですから、市の方が雇用は別にして、教育委員会として、新居浜市の子どもたちが、できるだけ同じ様な環境になれるような事になるよという意味での重点化です。いわゆる普遍化を含めた重点化というふうにとって頂ければありがたいし、学校図書館活性化推進総合事業という国の事業が終われば、マニュアルができたから、これでやって下さいよと言われても、なかなかできないでしょうし、図書館の司書の人も数も限りあるけども、最初にお話を聞いたら、一生懸命取り組まれていると、環境が変わって子どもたちも本を読む機会だとかいろんな所が進んでいるだけに、そういう話を聞くと、何か取り残されている様な感じがしてくるものですから、もっとこの所に積極的に予算を投入して、もっと短い期間で流れるよというの、本当の意味の弾力的なやり方ではないかというのが、田中委員ないし我々みんなの意見でした。</p> |
| 委員長   | <p>それ以外ございませんか。</p> <p>それでは、先ほど来出た意見は、事務局のほうで前向きに考えて頂いて、そういった中身も含めて経営戦略会議に出して頂けたらと思います。</p> <p>ということで、教育文化・自立協働・計画の推進部会の15事業については、ただいまの意見を付け加えた上で、経営戦略会議に報告するという事によるでしょうか。</p> <p>&lt;はい&gt;</p>  |
| 委員長   | <p>ありがとうございます。</p> <p>このあとなんですけれども、我々市民評価委員会で決定した意見につきましては、経営戦略会議に意見として、たたき台として提出されます。</p> <p>経営戦略会議は、いつ頃予定されているのでしょうか。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 今月末に予定しております。  |
| 委員長 | 今月末の経営戦略会議の結果については、事務局の方から各委員に決定内容について、文書で報告して頂けるのですか。   |
| 事務局 | 現在、お配りしている資料の形で、経営戦略会議の結果を記入したものを送付させていただきます。  |
| 委員長 | <p>このあとですが、今月末に経営戦略会議が開催されますので、その後に、経営戦略会議の結果が文書で送付されます。</p> <p>その後については、先ほどお話が出ましたように、経営戦略会議での決定を踏まえて、市長が予算案を策定いたします。来年3月の3月議会で、議決後、我々の出した意見がどのように予算に反映されたのかを含めて、議決されたあとですから、実質は、平成24年4月以降ぐらいに、市民評価委員会を開催する予定となりますので、時期等につきましては、また改めて協議させて頂けたらと思います。その中で、具体的にどういう形で、我々の意見が反映されているか、予算にどんな形で反映されているのかを含めて、事務局に説明をして頂きたいと思います。今年度初めて市民評価委員になった委員さんもおられますので、市民評価の評価の在り方であるとか、こういうところを市民評価委員会としての評価のものさしにしたらいいかとか、そういった事を含めて市民評価の在り方についても次回の市民評価委員会までにお考えを頂いて、市民評価が市民の目線に立って、費用対効果も含めた実行性の高い成果を重視した事業展開ができるように、我々市民の目で評価していきたいと思います。そういった意味での検討を委員さんにはお願いをさせて頂けたらと思います。</p> <p>全体を通じて、ご意見を最初にお伺いしましたけれども、他に何かご意見ございませんでしょうか。</p> <p>今、私が申しあげました事を含めて行政評価全般に関係した事で、何かご発言がありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>他にないようでしたら、これで本日の市民評価委員会を終了いたしたいと思います。長い間御苦勞でございました。今後ともよろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |